会報 倫風



『倫風』誌は、一日を明るく元気に生きぬくための
実践のヒントをお届けしています。

道草によってこそ
「道」の味がわかる。

河合隼雄
〈臨床心理学者・教育学博士／1928～2007〉



◆『倫風』誌の購読は、ホームページからお申込みください。
https://www.jissenrinri.or.jp/publications/teiki/rinpu-order/
200円〈送料無料〉

本誌の表紙は、抗菌加工を施してあります。

一般社団法人
実践倫理宏正会
The Practical Ethics Association

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-14-1
☎03-3264-8211(代)
(7:30～15:30 土・日・祝日は除く)
詳しくはホームページをご覧ください。
https://www.jissenrinri.or.jp

12月号のおすすめページ

〈ページ〉

特集 “頭がいい”とはどういうことか
～ 知識だけでは測れない、これからの知性 ～

31 頭を使ってコミュニケーション上手に　フリーキャスター 唐橋ユミさん
変化の時代を生き残る力　脳科学者 西　剛志さん
自分を知り、使いこなす力　教育家 小川大介さん
考える力を支える体の働き　東京都立大学准教授 西島　壮さん

時代を読む——iPS細胞は医療をどう変えるのか（上）
京都大学iPS細胞研究所 副所長・教授　長船健二さん

14 研究から治療へ　再生医療はここまで来た
iPS細胞の「体のさまざまな細胞に変化し、増え続けることができる」という特性を活かし、再生医療への応用が進められてきました。現在、研究は「安全に使えるか」だけでなく、「病気を治せるか」を確かめる段階へと進んでいます。iPS細胞研究の現在地と腎臓病治療への可能性についてうかがいました。

世相診断　教育ジャーナリスト　おおたとしまささん

84 「体験格差」とは何か
——子どもを主役にした真の体験を
親の貧富による子どもの「教育格差」が注目され、昨今では、子どもの「体験格差」という言葉もよく耳にするようになりました。
「体験格差」とは何か、またどう解決できるのかをうかがいました。